

# 日本メディア学会

## 第 39 期第 14 回理事会 議事録

日時：2025 年 3 月 8 日（土）10：00～12：40

場所：Zoom によるオンライン開催

出席者（22 名）：理事＝阿部、石田（佐）、植村、音、鳥谷、古賀、笹田、鈴木、田中、辻、土橋、福間、藤田、

松尾、松永、水越、村上、毛利、山口、吉見／ 部会長等＝津田 ／ 監事＝吉光

欠席者（6 名）：理事＝石田（あ）、金平、長崎／ 部会長等＝清水、治部／ 監事＝柴野

事務局出席予定者（3 名）：杉山、松山、ヴィニットポン

事務局出席欠席者（1 名）：柳

### 1. 報告事項

#### 1. 一般会務報告

##### 1) 事務局報告

- ・委員会および研究部会の会計報告、および総会資料の締切について

→会計報告は 3 月中、総会資料の締切は 4 月上旬とする旨の報告があった。

##### 2) 委員会報告

###### (1) 企画委員会

→とくになし

###### (2) 研究活動委員会

→とくになし

###### (3) 編集委員会

→『メディア研究』107 号特集（「メディアとしての学会誌」）についての進捗報告があった。

###### (4) 国際委員会

→とくになし

###### (5) 内川賞選考委員会・推薦委員会

→内川賞の選考についての進捗報告があった。

(6) 選挙管理委員会

→2月末で理事会選挙のオンライン投票が締め切れ、これから理事候補者への確認作業となる旨の報告があった。

(7) その他

→とくになし

2. その他

→とくになし

2. 審議事項

1. 第39期第13回理事会議事録(案)について(総務担当)

→承認された。

2. 2025年春季大会のプログラムについて(企画委員会)

→開催日程が2025年6月7日～8日なったことを確認した。また企画委員会から、2025年春季大会の応募状況、採否についての報告があり、承認した。一部、個人発表やワークショップの日程調整、発表者の肩書き調整などをすることを確認した。なお、ワークショップの非会員の登壇については、今後一定のルールを設ける必要があるため、継続審議とすることになった。

3. 2025年春季大会における理事会(第39期第16回理事会、第40期第1～2回理事会)

の開催形態について(総務担当)

→2025年春季大会当日の理事会は、対面開催を前提としつつ、ハイブリッド開催とすることを合意した。当日、会長選挙もZoomの投票機能を用いて行うことを合意した。

4. 学会研究活動の再編について(研究活動委員会)

→学会研究活動の方向性、編成案について承認した。具体的には、現状の「研究活動委員会-研究部会」という二層構造を、「研究活動委員会-分科会-プロジェクト」の三層構造とすること。分科会を「a 理論研究分科会」「b 社会研究分科会」「c 文化研究分科会」「d 歴史研究分科会」「e ジェンダー/ダイバーシティ研究分科会」「f 公募プロジェクト統括の分科会」の6つとすることを、合意した。これにともない、各種の関係内規「日本メディア学会研究活動委員会内規」「日本メディア学会国際委員会内規」「日本メディア学会企画委員会内規」の文言の一部を修正し、「日本メディア学会研

究分科会細則」を新設し、同内容も合意した。また、「公募プロジェクト応募要領」についても承認した。なお、本期の企画委員会が、2025年秋季大会におけるワークショップの公募要領案を作成し、次回の理事会で審議することを確認した。部会編成にともない、次期の理事会への引き継ぎを徹底することも確認した。

#### 5. 2024年度決算案、2025年度予算案について（総務担当）

→2024年度決算案、2025年度予算案について、一部合意した。具体的には、2025年度予算案において、支出の部では「機関誌発行費」における査読投稿論文システム（Editorial Manager）の導入、「秋大会運営費」「春大会運営費」におけるオンライン学会システム（ONLINE CONF）の引き継ぎの導入、収入の部では「正会員（院生・学生）の年会費減免」を理事会として合意した。現在、メディア学会の財務状況は好転したため、これから各事業費に還元していく方向性を確認、合意した。その他の予算案事項等については、次回の理事会で継続審議とすることとなった。

#### 6. 「日本メディア学会ダイバーシティ宣言」について（執行部）

→会長より「日本メディア学会ダイバーシティ宣言」に関する報告があった。5箇条からなる宣言文、それともなう「日本メディア学会ハラスメント対策委員会内規」の制定、および「日本メディア学会のハラスメント対応」についての提案がされた。これらは継続審議とし、次回の理事会で確定することを確認した。なお、「日本メディア学会ダイバーシティ宣言」のタスクフォースに門林岳史会員（関西大学）も加わることが承認された。また、日本メディア学会も「人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（GEAHSS）」への参加を検討すべきとの意見があった。

#### 7. 賛助会員制度について（基金・寄付金検討ワーキンググループ）

→基金・寄付金検討ワーキンググループより、（1）賛助会員制度の改善、（2）寄付協賛制度の充実についての提案があった。賛助会員制度の改善については、①年額の賛助会員費を段階に分けて規定すること、②賛助会員であることの特典を明確にすること、③企業と学会員の研究コラボレーションの基盤を構築すること。寄付協賛制度の充実については、学会賞を新設し、具体的にはジャーナリズム、イノベーション、倫理、市民活動の4分野についての学会賞新設を目指すことが提案された。本件は、次回の理事会で継続審議とすることを合意した。

#### 8. 会員の入退会について 入会希望者15名、退会希望者8名、復会希望者2名+（ご逝去1名）

→承認された。

#### 9. その他

→とくになし

今後の理事会日程

第15回 2025年5月17日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)

第16回 春季大会当日 (対面・ハイブリッド開催)